



# かけはし インタビュー

市議会×石下地区農業後継者の会  
代表 菊地<sup>やす</sup>康<sup>ひと</sup>等

市議会(以下議会)

「IFC(石下地区農業後継者の会)」とはどのような団体ですか。

代表菊地氏(以下菊地氏)

石下地区の45歳以下の施設園芸、露地園芸、水稲農家等あらゆる農業に関わる農業後継者で構成しており、現在の会員数は31名になります。JA常総ひかりが事務局としてサポートをしてくださり、各企業(肥料、農薬、種苗など)がIFCサポートプロジェクトチームとして、農業サイクルに応じてバックアップ体制を整えてくれています。地域農業の発展を目指し「地域の農業・食は地域で守る」というコンセプトのもと、肥料や農薬、税金などの勉強会や県外視察研修会、結婚活動などを通して若い世代で意見交換を行っています。

議会

農業を始めたきっかけと経営方針を教えてください。

菊地氏

私の家は元々農業をしており、白菜、キャベツ、レタスなどの葉物野菜をメインに生産をしていました。兄が農業を継がないということで、24歳の時に一年ほど外で修業をしてから家業を継ぎました。私は農業が好きで、ずっとやりたいと思っていたので、チャンスだと思いました。修業先で、生産者の方たちが色々考え方をもって農業をされているところに面白さを感じて、私も自分の農業を教えられたらと思い「菊地農園塾」を始めました。